



山形事務所 〒990-2481 山形市あかねヶ丘 2-1-6 TEL 023-646-6888 FAX 023-647-4026
東京事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 703号
TEL 03-3508-7158 FAX 03-3592-7660

とことん 山形!! 特別号

えんどう利明だからできる「山形未来」

山形新幹線

フル規格化!! 山形-東京間 1時間台に!!

東北中央自動車道

福島-新庄間

平成30年全線開通!! (村山市一部を除く)

山形大学医学部附属病院

重粒子線がん治療施設

平成31年治療開始!!

オリンピック・パラリンピック大臣から 大会組織委員会会長代行へ!



こんにちは、えんどう利明です。

私が初めて県議会議員に当選させていただいたのが1983年(昭和58年)のことでした。その後皆さまで国会議員として送り出していただき、早いもので20数年の月日が経ちました。

「地元暮らし皆さまの声をお聞きし、想いを受け止め、なんとかしておたえしたい。そのためには国政という大きなスケールでしっかりと取り組んでいくべきではないか」それが、私が国会議員を目指した理由でありました。

国会議員は地域の代表です。地元山形を幸せにするのが私のたいせつな仕事です。

これまで、道路をはじめとした社会インフラの整備、防災対策、地域振興など、様々な課題に向き合ってきました。おかげさまでその一つが着実に解決、前進しており、これも地域の皆さま、多くの関係者皆様のご協力あつてのことだとあらためて感謝する次第です。

一方で、大臣職を経験し、中央での仕事を通じて私が痛感するのは、世の中の変革です。

世界が大きく変わろうとしている今、我が国も時代に対応していかなくてはなりません。とりわけ山形のような地方のあり方は重要です。今後日本という国が元氣であるためには地方の力が益々必要となります。

山形には歴史と伝統、豊かな自然、優れた農業、ものづくりの技術など、有力な資源があります。また、近年では世界最先端のがん治療をはじめとした新たな技術・産業が誕生しようとしています。

こうした魅力を広く発信し、活用・普及へと結びつけることが私の役割であり、これまでの経験と知識をフルに生かし、自信を持って取り組んで参ります。

これからはグローバル化が進みます。2020年には日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。山形が、日本が飛躍できるよう、いっそう頑張りますのでぜひともご期待ください。

衆議院議員 **遠藤利明**

えんどう利明だからできる「山形未来」 とことん 山形!!

えんどう利明が取り組んでいます!!

年	主な略歴	山形をはじめとする主な取組み
1983 (S58)	● 県議会議員初当選	
1993 (H5)	● 衆議院議員初当選	
1996 (H8)	● 衆議院議員2期当選	
1998 (H10)	● 建設政務次官就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北中央自動車道(福島～米沢)施工命令(上山～南陽・米沢～米沢北)整備計画に格上げ ● 同時に東北横断自動車道酒田線(山形蔵王IC～山形北IC)の4車線化工事着工を決定 ● 山形市中央保育園(仮称)国庫補助決定 ● JAやまがた野菜集荷場完成(平成9年10月要望) ● 「山形市まちなか土地区画整理事業」補助事業採択
1999 (H11)		<ul style="list-style-type: none"> ● 東北中央自動車道 福島～米沢間の中心杭打ち式 ● 東北中央自動車道 東根～尾花沢間の中心杭打ち式 ● JR左沢線須川鉄道橋改築工事決定(山形市志戸田地区)
2000 (H12)		● 長谷堂トンネル着工式
2002 (H14)		<ul style="list-style-type: none"> ● 東北中央自動車道(山形上山～東根)間開通 ● 霞城改良(旅籠工区)事業着手
2003 (H15)	● 衆議院議員3期当選	● JR左沢線須川鉄道橋完成
2004 (H16)		<ul style="list-style-type: none"> ● 山形大学病院に重粒子線がん治療施設の設立準備が開始 ● 山形大学病院改築工事開始 ● 大野目交差点立体化の新規事業として着手
2005 (H17)	● 衆議院議員4期当選	● 霞城改良(旅籠町～城北町)工事着手
2006 (H18)	● 文部科学副大臣就任	● 「教育基本法改正」教育改革に全精力を傾ける
2007 (H19)	● 「スポーツ立国ニッポン」スポーツ立国調査会事務局長就任	● スポーツ立国調査会設立
2008 (H20)	● 第61代衆議院農林水産常任委員長就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 山形大学附属病院南病棟完成 ● 上山市坊平アスリートビレッジを国の高地トレーニング強化施設に指定 ● 山形市栄町大通り改良 ● 「中心市街地活性化基本計画」・七日町御殿塚の再開発が決定
2009 (H21)	● 衆議院議員5期当選	<ul style="list-style-type: none"> ● 2019年ラグビーワールドカップ招致決定 ● えんどう利明「夢未来やまがた」策定
2010 (H22)	● 「スポーツ立国ニッポン」スポーツ立国調査会会長就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スポーツ基本法案」を国会に提出 ● 山形大学の耐震化・リニアアップ施設、重粒子放射線施設の設置に向かう
2011 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自民党幹事長代理就任 ● 2020年オリンピック・パラリンピック日本招致議員連盟幹事長に就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災 ● 留山川ダム完成(天童市) ● スポーツ基本法が可決(えんどう利明が提出責任者)
2012 (H24)	<ul style="list-style-type: none"> ● 衆議院議員6期当選 ● 青少年問題に関する特別委員会委員長就任 ● 自民党教育再生実行本部長就任 ● 政府教育再生実行会議委員 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「須川かわまちづくり」計画を採択 ● 山形大学医学部への「重粒子線がん治療施設」整備事業が採択される ● 中山・山辺・山形線現地視察(112号線バイパスルート) ● 小中一貫教育・教師の待遇改善、グローバル人材の育成など、6次にわたる教育改革を安倍総理に提言
2013 (H25)	● 青少年問題に関する特別委員会委員長就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年東京オリンピック・パラリンピック誘致成功 ● 日本海沿岸東北自動車道未開通区間(新潟～山形)新規事業採択 ● 山工工学部フロンティア有機システムイノベーション整備事業決定
2014 (H26)	● 衆議院議員7期当選	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北中央自動車道「栗子トンネル」貫通式、2017(H29)の開通を目指す ● 中山・山形線112号バイパス化に向けて高木国土交通副大臣との現地視察 ● 国道13号大野目交差点開通式
2015 (H27)	● 東京オリンピック・パラリンピック大臣就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 山形大学医学部「重粒子線がん治療施設」整備費用を国家予算案に計上し、全体で約150億円の費用を確保 ● 山形大学医学部内に「がん研究センター」が完成、がん研究の拠点としての研究が始まる ● 中山・山形線期成同盟会の皆様と東北地方整備局へ要望(調査開始) ● 「スポーツ庁」設置法案成立 ● 山辺中学校の建設
2016 (H28)	● 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長代行就任	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウンに山形市・天童市・上山市が登録了承 ● 山形大学病院改築工事完成 総工事費194億円 ● 国交省東北整備局長と霞城改良視察、2019(H31)に供用開始 ● JR東日本と山形新幹線(米沢～福島間)の状況調査 ● 中山町・日本体育大学との体育・スポーツ振興協定
2017 (H29)		● 山形大学医学部「重粒子線がん治療施設」工事着工(2018年完成予定)

内陸部の大動脈 東北中央自動車道中心杭打ち式



中心杭打ち式

1998(H10)年12月25日に施行命令が出された東北中央道(福島～米沢)の中心杭打ち式が、1999(H11)年3月27日(土)米沢市の栗子トンネルの現場において行われました。

医療を軸とした大きな街づくりがいよいよスタート! 山形大学医学部 重粒子線がん治療施設の設置



開所式

えんどう利明は政府に対して懸命に働きかけ、2012年に整備事業が国策として決定。2015年・2016年の政府予算案において整備費用が計上され、2017年にはいよいよ建設工事が始まります。

県都と地域を結ぶメインストリートを整備! 国道112号線・霞城改良



国土交通省との霞城改良視察

下条町歩道整備視察

国道112号線の安全確保、渋滞緩和は建設政務次官を務めていたときからの重要懸案であり、皆さまからのご要望におこたえするべく、これまで心血を注いで参りました。その活動が実を結び、区間ごとの工事採択、調査、用地買収など、着々と計画が進展しています。

山形に大きな安心と安全を!! 山形大学附属病院南病棟が完成



完成式典にて

高度先進的な急性期医療を実現するために手術部・救急部を充実、危機管理に臨むため

に救急部には化学テロ対策の機能を持たせる等、最先端の高度医療を担う施設として整備されました。

全長8,972m 日本で5番目に長いトンネルが誕生! 東北中央自動車道 栗子トンネル



栗子トンネル貫通式

えんどう利明が建設政務次官であった1998年に施工命令が下され、2014年に貫通。2017年の開通を目指し、工事が急ピッチで進められています。

救急医療や防災、物流、観光にも大きなメリット! 日本海沿岸東北自動車道



現地視察

日本海沿岸東北自動車道は、新潟県・山形県・秋田県・青森県の主要都市を結ぶ重要な自動車専用道路です。えんどう利明の働きかけにより2013年度予算で未開通区間の新規事業化が採択されました。

慢性渋滞の緩和と事故抑制に貢献! 大野目交差点の立体化



新大野目交差点が開通

えんどう利明に対して流通団地の皆さまをはじめ多くの方々からご要望を受け、2004年に新規事業として着手。約10年の歳月をかけて本線部分を開通させるに至りました。

地域活性と交流による将来への希望を! 2020年東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン登録



サモア大使が山形市を表敬訪問

2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿「ホストタウン」に登録申請し、受け入れが承られました。山形市はえんどう利明が日本・サモア友好議員連盟の会長を務める縁から、サモアや台湾、タイを受け入れることとなります。

かならず
実現
します!!

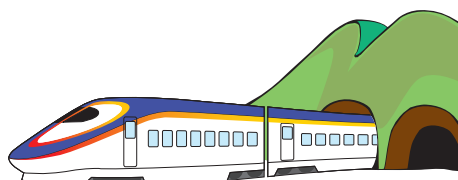
えんどう利明だからできる「山形未来」

山形 新幹線

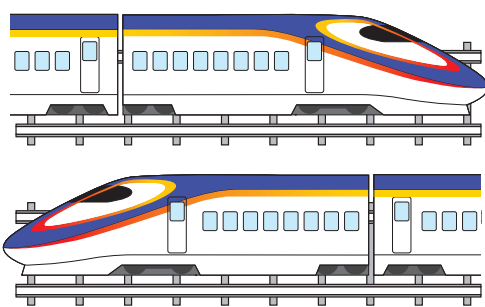
「山形-東京間1時間台に!!!」

便利、快適、安心・安全山形の活性化にも効果絶大!!

トンネルの新設



線路の複線化



現在、山形新幹線における山形～東京間は、最短でも2時間27分。ほぼ同じ距離である仙台～東京間は最短で1時間46分と遥かに速く、山形新幹線のスピード化は山形の皆さまの希望、えんどう利明の政治家としての大きな夢であります。

2016年8月、自民党が作成した「未来への投資を実現する経済対策案」では、整備新幹線について、山形新幹線などの基本計画も含め、地方創生に役立つ鉄道新幹線ネットワークの構築に取り組むべき旨の要望がなされ、フル規格化への方針を盛り込むことができました。

同時に雪崩や倒木、並びに動物への衝突などによる、遅延が出る米沢～福島間のトンネルの防災対策、関根～山形間の複線化など具体的な時間対策の協議を進めており、また2015年からはJR東日本も状況調査を進め、本年中にはその方向性が示される見込みです。

費用の問題や停車駅の問題など課題は多くありますが、皆さまの声を集め、ともに考え連携しながら、是非とも「山形-東京1時間台」を実現して参ります。



2016年11月21日
山形新幹線 米沢区間を視察。山岳区間の自然災害について、えんどう利明はかねてよりJR東日本に対し改善を要請しており、結果、平成27年より防災の抜本的対策の調査検討が開始されることとなった。

東北中央自動車道 福島-新庄間平成30年全線開通! (村山市一部を除く)

えんどう利明が長年取り組んできた、南東北の交通ネットワーク強化が実現!!

1983年、山形県議会初当選後、県議会議員としての最初の代表質問で、えんどう利明は新庄から米沢、そして福島へ至る「内陸縦貫高速自動車道の建設」を提唱しました。

その後、1993年に国会議員となり、1998年には建設政務次官として、名称を改めた「東北中央自動車道」の建設に全力を注ぎ、未改修区間であった福島～米沢間の施工を発令。上山～南陽・米沢～米沢北のそれぞれの区間を整備計画へと格上げするとともに、翌年には中心杭打ち式(福島～米沢・東根～尾花沢)を行うなど、これまでの迅速かつ精力的な取り組みが大きく実を結ぶこととなりました。



1999年3月
福島-米沢間の杭打ちをする遠藤建設政務次官

オリンピック・パラリンピック大臣から大会組織委員会会長代行へ! えんどう利明は今日も奮闘しています!

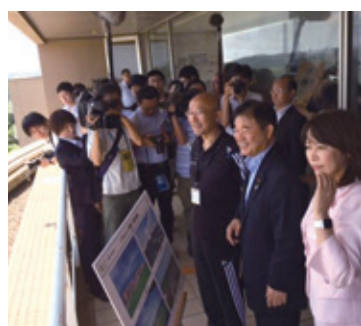
準備も
いよいよ
本格化!!

2015.12.22
国立競技場の
再考案決定を
受けて

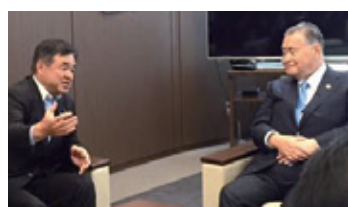


困難に直面するも
冷静、円滑に解決

日本全国に夢と希望を



2015.8.1 福島視察



2015.9.29
野球・ソフトボールの
福島県開催を森組織
委員会会長に要望

安全と安心を第一に



2016.8.2
JR千駄ヶ谷駅のバリアフリー化のための視察

日本の魅力を世界へ発信



2015.10.14
トヨタ自動車燃料電池
自動車等を視察

2015.10.26
NTTドコモ多言語化
アプリ等を視察



日本アスリートを力強くサポート



2015.9.24
ナショナル
トレーニング
センター視察



2015.10.1
鈴木大地
スポーツ庁長官と
(水泳金メダリスト)

大会組織委員会会長代行としてさらに手腕を発揮



2016.11.10
2020東京オリンピック・
パラリンピック競技大会
組織委員会会長代行に就任



2016.11.17
同就任の挨拶。
小池百合子東京都知事と